

正反疑問文の特性

——副詞との共起を中心に——

石井友美

1. はじめに

現代中国語には正反疑問文、諾否疑問文、選択疑問文、疑問詞疑問文の4つのタイプの疑問文が存在する。その中でも正反疑問文、諾否疑問文は意味上目立った違いがあまり見られないことや両者の書き換えが可能なことから、よく同類の疑問文として扱われる。

(1) 正反疑問文：你来不来？（あなたは来ますか？）

諾否疑問文：你来吗？

このように同類の疑問文として扱われる両者だが、望月 1984 や山口 1996 が指摘するように副詞と共起した場合、異なった様相を見せる。

(2) a. 你也来吗？（あなたも来ますか？）

b. *你也来不来？

(3) a. 你们都来吗？（あなた達はみな来ますか？）

b. *你们都来不来？

(4) a. *你究竟来吗？

b. 你究竟来不来？（あなたは結局行くのか？）

(5) a. *你到底来吗？

b. 你到底来不来？（あなたは一体行くのか？）

副詞“也”“都”は諾否疑問文とは共起でき、正反疑問文とは共起できない。一方、“究竟”“到底”は正反疑問文とは共起できて、諾否疑問文とは共起できない。

また上記以外にも両疑問文と副詞の共起について扱った先行研究では“还”

がよく挙げられる。“还”は正反疑問文、諾否疑問文のどちらか一方としか共起できないというわけではなく、両方と共起可能である。

(6) a. 你还来不来? (あなたはまだ来るのか?)

b. 你还来吗?

このような差異は両疑問文の固有の特性から生じると考えられる。また正反疑問文は諾否疑問文とは異なり副詞との共起においてより制約を受けやすい。上記の例文や多くのインフォーマントが諾否疑問文は“究竟”“到底”の二つの副詞だけ共起出来ないとするのに対して、正反疑問文はほとんどの副詞と共起出来ないとしている。

(7) a. 要马上回去吗? (すぐに戻りますか?) [未]

b. *要马上回不回去?

(8) a. 爱我的人都痛苦吗? (私を愛する人はみな苦しむのか?) [我们]

b. *爱我的人都痛不痛苦?

(9) a. 您常常去大学吗? (あなたはよく大学に行きますか?) [您]

b. *您常常去不去大学?

(10) a. 哦, 很麻烦吗? (え、面倒ですか?) [一]

b. *哦, 很麻不麻烦?

(11) a. 我们可以互相了解吗? (私たちはお互い理解できますか?) [诨]

b. *我们可以互相了不了解?

またコーパスで正反疑問文と共起している副詞を調べたところ“倒是”“又”が共起している例を見つけることが出来た。

(12) 你倒是来不来? (あなたは行くのか?)

(13) 走到门边不禁有些心情悸动, 会不会遇上他呢? 又会不会像上次一样血冲脑门, 禁若寒蝉呢?

(ドアのあたりまで行くと胸の高鳴りが抑えられず、彼に会ったのだろうか、この前のように頭に血がのぼり、口を噤んでしまったのかと考えを巡らせた。) [孤]

“倒是”“又”“究竟”“到底”“还”以外の副詞がコーパスにおいて正反疑問文

と共起している例は見られなかった。以上のことから本稿では正反疑問文と共起できる副詞は“究竟”“到底”“还”“又”“倒是”の5つとする。筆者はこのように正反疑問文が副詞の制約をより受けるのはこの疑問文の持つ特性によるものだと考える。

以上のような正反疑問文と諾否疑問文の差異について相原 1991 と山口 1996 の先行研究がある。

相原 1991 は副詞“也”と正反疑問文が共起できない理由を以下の (14) を用いて説明している。

- | | | |
|-----------|---|----------|
| (14) 類同事項 | | 疑問文 |
| 你来 | → | 他也来吗? |
| 你不来 | → | 他也不来吗? |
| | | * 他也来不来? |

“也”という副詞はもともと「類同」を表す。つまり前提を必要とする副詞である。例えば (14) の“他也来吗?”や“他也不来吗?”には必ず“你来”や“你不来”という前提が存在する。そして“* 他也来不来?”と言った場合にその前提になるのが、“你来”なのか“你不来”なのか確定できない。相原 1991 はこれが正反疑問文と副詞“也”が共起できない理由だと説明している。

山口 1996 は副詞“都”と正反疑問文が共起できない理由を説明している。まず最初に山口 1996 は正反疑問文というのは選択疑問文から派生した疑問文だということを前提にしている。例えば (15) では正反疑問文 a は選択疑問文 b から派生している。

- (15) a. 你来不来?
 b. 你来还是不来?

そして選択疑問文は以下の (16) b からわかるように、“都”とは共起できない。それは“都来”「皆、来る」の否定は部分否定の“不都来”「皆は来ない」でならなくてはいけなく、以下の例の“都不来”「皆来ない」では全否定になってしまい、“都来”“都不来”といった論理的に矛盾した二者を話し手に選択させようとしているため、(16) b は“都”と共起できない。(16) b の派生である

正反疑問文 (16) a も同じ理由で共起できない。

- (16) a. * 你们都来不来?
b. * 你们都来还是都不来?

以上の先行研究は非常に説得力のあるものだが、相原 1991 では正反疑問文と“也”について言及するもので、その他の副詞との関係については触れていない。また山口 1996 は“都”以外にも様態副詞、部分否定、全否定を持つ副詞、“究竟”等の正反疑問文と共起可能な副詞についても触れているが、それぞれの個別の特性と正反疑問文の言及のみにとどまっている。本稿では先行研究で扱われていない正反疑問文自身の特性、正反疑問文と共起できない多くの副詞を分析するとともに、正反疑問文と諾否疑問文の副詞との共起の差異について統一した規則を探っていきたいと考える。

2. 正反疑問文と諾否疑問文

前述したように正反疑問文と諾否疑問文は意味上、表す事柄は同じである。しかしこの両疑問文について劉月華 1986、沈国威 1992 は次のような違いを指摘している。

劉月華 1986 は“意向”という言葉を用いて、これが両疑問文の違いだとしている。この“意向”というのは話し手の予測性のことで、劉月華 1986 は正反疑問文には“意向”がなく、諾否疑問文には“意向”があると説明している。例えば (17) a の例では話し手は“这儿”に人がいることを知っていて尋ねている。このような話し手の“意向”は (17) b のような正反疑問文に書き換えた場合なくなってしまう。また (18) a では方凌軒が一番弟子の郑松年に質問の答えを当然知っているという予測して尋ねている。同様にこの話し手の“意向”は (18) b の正反疑問文に書き換えられた場合なくなってしまう。

(17) a. 这儿有人么? (ここには誰かいますか?) [劉月華 (1986)]

b. 这儿有没有人?

(18) a. 方凌軒:你记得《本草》里有一味草药叫卷柏的吗? [劉月華 (1986)]

(あなたは《本草》の中に“卷柏”と呼ばれる薬があるのを覚えてい

正反疑問文の特性

ますか?)

郑松年：记得，又叫万年松，长生草。

(覚えています。“万年松”“长生草”とも呼ばれます。)

b. 你记不记得《本草》里有一味草药叫卷柏的？

以上のような違いは確かに上記の例にあるように上手く当てはまる場合もあるが、実際は正反疑問文が話し手の予測を持って尋ねられることや、諾否疑問文が話し手の予測なしに尋ねられる場面は少なくない。沈国威 1992 はこの劉月華 1986 の“意向”を「見込み」という言葉に替え、この「見込み」が文に顕在化することと傾向性のある非中立文で使用されることは別次元であると説明している。沈国威 1992 は下記の表 1 を用いて説明している。

表 1

疑問形式		「見込み」顕在化	使用環境
諾 否 疑問文	無標	不可	中立文脈
	有標	可	非中立文脈
正反疑問文		不可	不問

諾否疑問文は「見込み」を顕在化させていない場合が無標で、それは中立文脈、つまり話し手の予測を含まない文脈に使用される。また諾否疑問文は「見込み」を顕在化させ、非中立文脈、つまり話し手の予測を含む文脈にも使用することができる。この場合の諾否疑問文は有標となる。正反疑問文自身は「見込み」を顕在化することはできないが、中立文脈、非中立文脈どちらでも使用可能である。以上が沈国威 1992 が説明する正反疑問文と諾否疑問文の違いである。まとめると諾否疑問文はそれ自身が予測性を持つこともでき、また持たないこともできる。この自身の予測性の有無に伴い中立文脈で用いられるか、非中立文脈で用いられるかわ変わる。そして正反疑問文はそれ自身は予測性を持たないが、中立文脈、非中立文脈のどちらでも用いられるため予測性の有無が見られる。この説明により前述した劉月華 1986 の“意向”の説明を補うことができる。例えば正反疑問文が話し手の予測性を含む場合、これは劉月華 1986 の説明の反例になってしまうが、沈国威 1992 の説明を取り入れることにより

正反疑問文自身は予測性を持たないが、予測性を持つ文脈に使われるかどうかは別次元であると説明することができる。

以上が正反疑問文と諾否疑問文の違いの先行研究だが、両方とも両疑問文の話し手の答えに対する予測性について言及している。そして何れも正反疑問文は予測性を持たず、諾否疑問文は予測性を持つと説明している。このことはつまり正反疑問文とは予測性を持たない純粋な疑問文であるということの意味する。純粋な疑問文とは沈国威 1992 の言葉を借りれば、聞き手から答えを引き出そうとする「疑問文の力」が強いということになる。

また両疑問文は予測性の他に焦点構造においても違いが見られる。“焦点”とは袁毓林 2003 によると文中において比較の際立った部分、また話し手が特別注意を引かせようとしている部分であるとしている。この定義を疑問文に用いると、疑問文はその主な機能が何かを訊ねるということにあるため、話し手が訊ねようとするところに焦点があるということになる。劉月華 1992 は諾否疑問文は文全体によって質問しているのであり、回答も文全体に対する肯定、否定であると説明している。

(19) 甲：你来有事吗？（あなたは用事があって来たのですか）[劉月華（1992）]

乙：对。（そうです。）

(20) 甲：你就走吗？（あなたはこれからすぐ出掛けますか）[劉月華（1992）]

乙：不，再等一会儿。（いいえ、もう少ししてから）

正反疑問文では上記のように文全体で質問し、回答を文全体の肯定、否定で表すことはない。

これは諾否疑問文の焦点が明確でないのに対して、正反疑問文は焦点を明確にする特性を持つことにある。劉順 2003 はアクセントを用いて両疑問文の焦点の違いを説明している。

正反疑問文は話し手が二つの状況（肯定と否定）を提示し、聞き手にその二つから選ばせるということから、その焦点は正反部分にある。

(21) a. 他走不走？（彼は出発しましたか？）[劉順（2003）]

b. 小王能不能来？（王さんは来られますか？）

正反疑問文の特性

- c. 小王跑得快不快? (王さんは走るのは速いですか?)

諾否疑問文はアクセントや焦点標記を用いて焦点の位置を任意に替えることができる。

- (22) a. '老李今天上夜班吗? (李さんが今日、夜勤ですか?) [劉順 (2003)]

- b. 老李'今天上夜班吗? (李さんは今日が夜勤ですか?)

- (23) a. 是你到饭店去吃饭吗?

(あなたがホテルで食事するのですか?) [劉順 (2003)]

- b. 你是到饭店去吃饭吗? (あなたはホテルで食事するのですか?)

- c. 你到饭店是去吃饭吗? (あなたはホテルで食事をするのですか?)

以上から正反疑問文はその焦点を明確に一点に定める性質があるが、諾否疑問文は焦点を任意に替える性質があるということがわかる。この正反疑問文の特徴は疑問詞疑問文、選択疑問文と同じである。楊鮮灵 2002 は焦点標記“是”を用いて正反疑問文、疑問詞疑問文、選択疑問文の焦点の位置について説明している。

- (24) a. 小马是什么时候买的这件衣服?

(馬さんはいつこの服を買ったのですか?) [楊鮮灵 (2002)]

- b. *是小马什么时候买的这件衣服?

- (25) a. 这个钟走得是快还是慢?

(この時計は進んでますか遅れてますか?) [楊鮮灵 (2002)]

- b. *是这个钟走得快还是慢?

- (26) a. 他到底现在是走不走呢?

(彼は結局のところ今、出発するのですか?) [楊鮮灵 (2002)]

- b. *他到底是现在走不走呢?

正反疑問文、疑問詞疑問文、選択疑問文はいずれも焦点標記“是”をそれぞれの焦点となる述語の正反部分、疑問詞、選択項目の前にしか置けない。しかし諾否疑問文は (23) からわかるように焦点標記“是”の位置が固定されることはない。

以上のことから正反疑問文と諾否疑問文に見られる焦点の違いは、正反疑問

文が焦点を一点に定めること、諾否疑問文が焦点を一点に定めず、文脈や話し手の意図で移動させるということがわかる。このような両疑問文の焦点の特徴を本稿では正反疑問文を「固定焦点」、諾否疑問文を「可動焦点」と呼ぶことにする。この「可動焦点」と「固定焦点」の違いは本稿で問題とする副詞との共起に深い関係がある。次章で正反疑問文と副詞との共起の問題を焦点の特性を絡めて論じていく。

3. 副詞の性質

3. 1. 副詞の機能

多くの文法書において、副詞は述語を修飾することが最も主要な機能と説明されている。副詞に限ったことではないがこの主要機能を除くと副詞の間で見られる性質は多様である。例えば“也许”は単独で用いることができるが、これは“也许”に見られる特性であって、他の多くの副詞が持つものではない。また“刚”は名詞を修飾できるが、この特性もすべての副詞に当てはまる訳ではない。このように副詞と一括りに分類されていても、個々の副詞が持つ機能は多様である。本稿では正反疑問文と副詞に一貫した規則を見出そうとしているため、以下、副詞の主要機能またすべての副詞に共通する機能である修飾について言及していきたい。

朱徳熙、杉村博文・木村英樹訳 1995 (187頁) によると修飾とは中心語を限定もしくは描写することである。この説明を副詞に置き換えて考えると、修飾は中心語である述語を限定、描写することになる。例えば(27)の“刚刚”が“看”の動作の発生時間、(28)の“都”は範囲、(29)の“常常”は頻度、(30)の“很”は程度をそれぞれ限定または描写している。

(27) 我刚刚看完了这样的小说。(私はこんな小説を読み終えたばかりです。)

(28) 大家都来了。(みんな来ました。)

(29) 我常常安慰她。(私はよく彼女を慰める。)

(30) 她很聪明。(彼女は賢い。)

次節では以上のような副詞の限定、描写機能が正反疑問文と共起不可能な副

詞と可能な副詞でどのように異なるのか見ていきたい。また以下では正反疑問文と共起不可能な副詞と可能な副詞の性質を説明するが、その性質は副詞の主要機能である修飾機能における性質であり、前述したような固有の性質に着目するわけではない。

3. 2. 正反疑問文と共起不可能な副詞

前述したように、正反疑問文と共起不可能な副詞は多く存在する。以下、これらの副詞がどのような性質を持つのか見ていきたい。

前節で説明した修飾の述語を描写、限定する機能は言い換えれば述語を具体的に説明していることになる。この述語を具体的に説明するという機能は述語の成立が不確定な場合、つまり諸否疑問文に用いられると、述語を既知情報にさせる。例えば (31) の“去”は“常常”によって具体的に説明されていて、話し手にとって“去”か“不去”かは既知である。

(31) 您常常去大学？（あなたはよく大学に行きますか？）[您]

またコーパスにおいて、述語を既知情報にさせるだけではなく、副詞自身が焦点となる例が多く見られる。

(32) 你常常对某一个女孩一见钟情吗？

（あなたはよく女の子に対して一目惚れするの？）[我]

(33) 她以前每天都弹钢琴吗？ 即使半夜里也这样？

（彼女は以前毎日ピアノを弾いていましたか？ たとえ夜中でもそうでしたか？）[钢]

(34) 高挑？ 她很高吗？

（痩せていて背が高い？ 彼女はとても高いのですか？）[肉]

(35) 你刚刚来到这个城市？（あなたはこの町に来たばかりですか？）[不]

(32) では話し手は聞き手が自分に好意を寄せていることを既に知っている且つ、知り合って聞かない。そのため“一见钟情”かどうかは既知情報であり、この疑問文で訊ねようとするのは、“一见钟情”の頻度である。つまり“常常”に焦点がある。(33) は聞き手が既に“她”がピアノを弾くということを知って

いて、話し手が質問している。故に“弾钢琴”は焦点ではなく副詞の“都”に焦点がある。(34)は“高挑”という言葉がある通り、話し手は彼女が背が高いことを知っているため、次の疑問文では“高”に焦点があるのではなく、“很”に焦点があることがわかる。また(35)は話し手は既に“这个城市”にいる状態でこの質問している。そのため焦点は“来”かどうかにあるのではなく、“刚刚”にあると言える。

上記の例はすべて正反疑問文と共起不可能な副詞であり、以上のことから正反疑問文と共起不可能な副詞は疑問文中でそれ自身が焦点になる傾向を持つと言える。

正反疑問文は述語の正反部分を焦点に固定する「固定焦点」である。以下の(36)では“去不去”に焦点を固定している。焦点を固定するという性質は言い換えれば正反疑問文は常に述語の正反部分が卓立していなければならないということである。そのため(36) b, cは“也”“都”が文中に置かれていて、それら自身が焦点になってしまい正反部分の卓立性を奪ってしまう、つまり正反疑問文の「固定焦点」の性質に矛盾してしまうため共起できない。

- (36) a. 你去不去?
- b. *你也 去不去?
- c. *你们都 去不去?

また諾否疑問文は正反疑問文のように焦点を一点に固定する性質はなく、文脈や話し手の意図で替えることのできる「可動焦点」である。そのため上記の“也”“都”のようなそれ自身が焦点になる副詞とは矛盾が生じることはなく共起できる。

以上のように、正反疑問文と共起不可能な副詞は共通してそれ自身が焦点になるという性質を持つことがわかった。次に正反疑問文と共起可能な副詞がどのような特性を持つのか見ていきたい。

3. 3. 正反疑問文と共起可能な副詞

正反疑問文と共起可能な副詞は“究竟”“到底”“倒是”“还”“又”の5つが

ある。次にそれぞれの副詞がどのように機能するか見ていきたい。

3. 3. 1. “究竟” “到底” “倒是”

“究竟” “到底” “倒是” は疑問文においては詰問の語気を表す。詰問の語気というのは話し手の主観であり、正反疑問文と共に起不可能な副詞のように述語を限定、描写する機能はなく、文全体を包み込む機能を持つ。例えば (37) では“究竟” は疑問文の語気を強めているだけで、後続する“需要” “不需要” を限定、描写することはない。これは (38) (39) の“到底” “倒是” も同じで、何れも後続する“给” “不给”、“开” “不开” を限定、描写するのではなく、疑問文の語気を強める働きをしている。

(37) 广告究竟需要不需要诚实? (CMに結局誠実さは必要か?)

(38) 你到底给不给钱? (一体お金をくれるのか?)

(39) 你倒是开不开门? (あなたは扉を開けるのか?)

またこの性質は“究竟” “到底” “倒是” が陳述文に現れても同じである。例えば (40) の“究竟” は「所詮」 「詰まるところ」 など話し手の評価を表しており、後続する“是” だけを限定、描写するのではなく“是孩子” という文全体を包み込んでいる。

(40) 孩子究竟是孩子, 大人就不会这样做了。

(子供は所詮子供だ。大人はこんな風にしない) [中日辞書 (講談社)]

(41) a. 她的发音真漂亮, 到底是留学过的。

(彼女の発音はきれいだ。やはり留学してただけある。) [中日辞書 (講談社)]

b. 我到底把他说服了。(私はとうとう彼を説得した。)[中日辞書 (講談社)]

(42) a. 他说得倒是容易, 实际上哪有那么简单。

(彼は簡単に言うが、実際はそんなに簡単ではない) (反对) [中日辞書 (講談社)]

b. 质量倒是挺好, 就是价钱稍微贵了一点儿。

(品質は良いが、少し高い。)(譲歩) [中日辞書 (講談社)]

c. 这里安静, 读书倒是挺好的。

(ここは静かで、読書にはとても良い。) (語気を和らげる) [中日辞書 (講談社)]

以上のように“究竟”“到底”“倒是”は疑問文においてそれら自身が焦点になっているとは言えない。また焦点にならないという点では語気副詞に分類される“难道”“居然”などと同じである。但し、“难道”“居然”は“究竟”“到底”“倒是”とは異なり正反疑問文とは共起できない。

- (43) a. 你难道不知道吗? (あなたはまさか知らないのか?) [欲]
b. *你难道知不知道?
- (44) a. 你居然不知道吗? (あなたは意外にも知らないのですか?) [随]
b. *你居然知不知道?

これは上記のような語気副詞が疑問文中で反語になるためである。反語になるということは話し手が答えを予測していることである。例えば(43)では話し手は既に聞き手が“知道”であることを知っており、“知道”であるかどうかは問われていない。この性質が、“难道”“居然”が正反疑問文と共起できない原因である。またこの性質が正反疑問文の性質とどのように関わるかについては後述する。

3. 3. 2. “又”

次に副詞“又”についてだが、“又”は正反疑問文においてそれ自身が焦点にならないという性質を持つが、“究竟”“到底”“倒是”とは若干状況が異なる。(45)の“又”は重複を表す。このような用法は正反疑問文と共起不可能な副詞と同じで後続する述語を限定、描写している。

(45) 又下雨了。(また雨だ) [中日辞書 (講談社)]

さらに疑問文においても必ずしも話し手の語気を表すわけではない。

(46) 我又失业了吗? (私はまた失業したのですか?) [302]

以上のように“又”は“究竟”“到底”“倒是”とは異なり、話し手の語気が必ず陳述文、疑問文に表れるわけではない。しかし“又”は正反疑問文において、必ず接続詞的な用法で用いられる。

(47) a. 你接到过陌生保险经纪打来的电话吗, 而且他们在电话里直呼你的姓

名？ 你又有没有过上网密码被盗用的经历？

(あなたは知らない保険の仲買人からの電話を受けたことがありますか？ また彼らは電話であなたの名前を呼びましたか？ さらにインターネットのパスワードを無断で使用され経験はありますか？)

[青年时报 2006 年 7 月 8 号]

- b. 很多人就担心到了夏天在温室效应的作用下，游泳馆里面会不会特别闷热，又会不会因为开空调耗费大量的能源呢？

(多くの人が、夏になり、温室効果のもと、プールの中は特に蒸し暑いのではないかと、空調により大量のエネルギーを消費しているのではないかと心配している。) [世界新能源网 2008 年 3 月 15 日]

もし“又”が後続する述語を限定、描写する機能の場合、成立しない。例えば劉月華 1986 は正反疑問文と共起不可能な例として“又”が重複の意味を表す例文を挙げている。

(48) *你又喝醉没喝醉？ [劉月華 (1986)]

以上のことからわかるように“又”は正反疑問文において後続する述語を限定、描写することはない。ゆえに“又”は“究竟”“到底”“倒是”と同じく正反疑問文に用いられた場合、それ自身が焦点になることはない。

3. 3. 3. “还”

“还”は“又”と同じく平叙文、疑問文において必ずしも話しての語気を表すわけではない。以下の (49) (50) の“还”は継続を表している。

(49) 外边还在下雨。(外はまだ雨が降っている) [中日辞書 (講談社)]

(50) 你还在吗？(あなたはまだ居ますか？)

しかし“还”は“又”と異なり正反疑問文においても正反疑問文と共起不可能な性質、つまり中心語の限定・描写作用と“究竟”“到底”“倒是”の性質、つまり詰問の語気を表す作用を兼ね備えている。例えば、(51) a, b の“还”は「それでも～か」という話し手の語気を表し、c は継続の意味、つまり中心語の限定・描写を表している。

(51) a. 你啰里八嗦地说什么，真烦人！还买不买车了？

(あなたは何をぐたぐと言ってるの、本当にイライラする！ それでも車を買うの?) [爰]

b. 你还让不让我睡觉了! (お前はそれでも私を眠らせるのか!) [是]

c. 还疼不疼? 肌肉还疼不疼? (まだ痛い? 筋肉はまだ痛い?) [爰情]

以上から“究竟”“到底”“倒是”“又”“还”は話し手の語気を表す用法を共通して持っているということがわかる。しかし“究竟”“到底”“倒是”“又”は正反疑問文において常に語気を表すのに対して、“还”は正反疑問文において語気だけではなく、正反疑問文とは共起不可能な性質でも用いることができる。この“还”の性質は“究竟”“到底”“倒是”“又”の正反疑問文における共通点とは反するものであるが、“还”の核心的意味という観点から見ると、やはり“还”も“究竟”“到底”“倒是”“又”と同じ性質を持つということがわかる。前田 2007 は“还”の意味拡張についてその核心的意味を分析している。(52)では、動詞“还”は「返す」という意味を持つため“那本书”は“老李”から“我”へ、“我”から“老李”へ空間移動している。前田 2007 はこの空間移動が“还”の核心的意味であるとしている。

(52) 我把那本书已经还给老李了。

(私はその本をもう李さんに返した。) [前田 (2007)]

さらにこの空間移動が副詞の“还”にも意味拡張する。例えば、(53)の“还”には話し手の「起きている」という想定から「まだ寝ている」という事実への移行が見られる。このように“还”は一見すると継続等の中心語を限定・描写の用法を意味するが、想定 of 移行が根底にあるためその核心的意味は話し手の主観と深い関わりがある。

(53) 他还在睡觉。(彼はまだ寝ている。) [前田 (2007)]

以上から副詞“还”もその核心的意味は話し手の主観と関わりがあるということがわかる。この点において“还”は“究竟”“到底”“倒是”“又”と同じ性質を持っていると言える。

以上、正反疑問文と共起可能な副詞“究竟”“到底”“倒是”“还”“又”の性質を分析してきたが、これらの副詞に共通しているのは疑問文においてそれ自

身が焦点にはならないことである。

このような性質は前章で説明した正反疑問文の「固定焦点」の特性と矛盾することはない。下記の(54)では焦点が“去”の正反部分にある。“究竟”はこの文において疑問の語気を強める働きしかしておらず、それ自身が焦点になることはない。そのため焦点を常に一点に定める「固定焦点」の正反疑問文と共起可能である。また前述した“难道”“居然”もこれら自身が焦点にはならないが、両者とも反語を表すため、述語部分の是非は問われていない。この点が焦点を常に述語に定める「固定焦点」の正反疑問文とは相性が悪く、共起できない。

(54) 你究竟去不去？

“还”は正反疑問文と共起不可能な副詞と可能な副詞の両方の性質を持っているため、(6)で挙げたようにどちらの疑問文とも共起可能である。

(6) a. 你还来不来？（あなたはまだ来るのか？）

b. 你还来吗？

また諾否疑問文は“究竟”“到底”と共起できない。

(55) a. * 你究竟去吗？

b. * 你到底去吗？

“究竟”“到底”は疑問詞疑問文、選択疑問文とは共起できる。

(56) a. 你究竟去那儿？

b. 你到底去哪儿？

(57) a. 你究竟去还是不去？

b. 你到底去还是不去？

このように“究竟”“到底”は「可動焦点」を持つ諾否疑問文とは共起できず、「固定焦点」を持つ正反疑問文としか共起できない。これは“究竟”“到底”のような詰問の語気を持つ副詞は疑問の焦点が明確にされた疑問文と相性がよく、諾否疑問文が持つ「可動焦点」のような性質は焦点が明確にされないため相性が悪いからと考えられる。

4. まとめ

以上、副詞との共起の問題を中心に正反疑問文と諾否疑問文の特性を分析してきた。そこから正反疑問文には焦点を一点に定める「固定焦点」を持ち、諾否疑問文には焦点を文脈や話し手の意図で替えることができる「可動焦点」を持つということがわかった。正反疑問文は「固定焦点」という点では疑問詞疑問文、選択疑問文と同じ性質を持つ疑問文であると言える。しかし同じ事象を訊ねるといふ点では諾否疑問文と同じである。このように正反疑問文は、是不で答えられる諾否疑問文と、答えを話し手が選択するタイプの疑問文つまり疑問詞疑問文、選択疑問文と両方の性質を兼ね備えているということがわかる。このような性質を持つ正反疑問文は特殊な疑問文であり、語用面においてどのような作用があるのか今後の課題にしていきたい。

【参考文献】

- 劉月華 1986 〈用“吗”的是非问句和正反问句用法比较〉句型 and 动词 语文出版社
劉月華 等 1983 《实用現代漢語語法》商務印書館
劉順 2003 〈現代漢語の否定焦点和疑問焦〉齊齊哈爾大學學報
袁毓林 2003 〈句子得焦点结构及其对语义解释的影响〉当代言語学 第5卷 第4期
楊鮮靈 2002 〈疑問焦点与否定焦点〉运城高等专科学校學報
相原茂 1991 「“他也来不来?” はなぜ言えぬ?」中国語學習Q & A 101
朱徳熙 1995 『文法講義』杉村博文、木村英樹訳 白帝社
前田真砂美 2007 「副詞“还”の認知的意味分析」『中国語学』
沈国威 1992 「中国語おける正反疑問文とその選択原理について」文林 26号
山口直人 1996 「反復疑問文と副詞の共起に関する一考察」『中国語学』
劉月華 1992 『中国語の表現と機能』平松圭子、高橋弥彦、永吉昭一郎訳 好文出版
石井友美 2008 「正反疑問文の特性 副詞との共起を中心に」修士論文

【用例出典】

- 亦凡公益图书馆 <http://www.shuku.net:8082/novels/cnovel.html> より
[您]:《您爱吃苹果馅饼吗》冈采夫

正反疑問文の特性

[孤]：《孤独的永生》幻真

[我]：《我爱上了一个天使之用情》熄火王子

[钢]：《钢琴杀人事件》金圣钟

[肉]：《肉蒲兵团》松柏生

[未]：《未来世界》王小波

[我们]：《我们都活得太认真》旻旻

[一]：《一掬落英》澜月

[狰]：《狰狞玫瑰》花之痕

[欲]：《欲望的天空》叶家

[随]：《随随便便就说爱》秋飞花

[302]：《302号空间》魏先和

[爱]：《爱情，与我擦肩而过》邓筱菊

[是]：《是什么淋湿了这个世界》太阳街女人

[爱情]：《爱情西岸》马营

[不]：《不要问我从哪里来》流星亚亚

中日辞書 第二版 講談社

青年时报 2006年7月8号《“信息大盗”黑了数十万股民》

世界新能源网 2008年3月15日《揭密北京奥运主会场鸟巢太阳能光伏工程》

(いしい ともみ・お茶の水女子大学大学院博士後期課程)